

城山中学校
学校だより

校訓
「覇気と感動」「自治の精神」

覇気

令和5年度 第7号

令和5年12月18日(月)

小田原市立城山中学校

校長 市川 嘉裕

学校教育目標

日々の生活の中で校訓：「覇気と感動」「自治の精神」を体現する生徒の育成

金メダリスト塚田真希さんによる授業が行われました

11月29日(水)にアテネオリンピック柔道女子金メダリストの塚田真希さんが来校し、1年生に柔道の授業を行いました。全日本柔道連盟の保健体育科武道授業支援事業へ応募し、高倍率の中、当選して実現した特別授業。生徒たちは塚田さんの言葉に真剣に耳を傾けていました。柔道を中学生になって初めて体験する生徒が多いですが、塚田さんの言葉と実演で見せてくれる指導はとても分かり易く、「言われたとおりの動き」を全員が試行錯誤しながらも短時間でマスターしていました。見ていた教員も思わず体を動かして取り組みたくなったほどです。

塚田さんは「柔道は礼に始まり礼に終わる。技をかけるにも、受け身を取るにも、相手がいてはじめてできる。相手に技をかけるとき、相手は自分を信頼して技を受けてくれる。自分も相手を信頼して技をかける。これが柔道の礼。おもてなしの礼とは違い、古くからある武道の考え方」とお話をされました。柔道の時間を「古くからある価値観を楽しめる時間にしてもらえれば」との言葉が印象的でした。(裏面新聞報道記事)



学校保健委員会が開催されました

12月7日(木)に学校保健委員会が開催されました。学校代表の生徒会総務部役員、各クラス代表2名の保健委員、PTA代表の本部役員・厚生委員、学校医、学校薬剤師がメンバーとなり、今年は「正しい姿勢をしよう」をテーマに保健委員会が全校生徒に向けて行ったアンケート結果を中心に話し合いを進めました。

アンケート結果からは、「自分の姿勢が良い」と思う人は20%(思わない人は45%)だが、「まわりに姿勢が悪い人がいる」と思う人は88%に上り、自分で思うよりも他人から見ると姿勢が悪い可能性があることや、「姿勢が悪い」ことで他人からのイメージが悪くなること、等が浮き彫りになりました。良い姿勢のメリット・悪い姿勢のデメリットについても報告がありました。

12月11日(月)～15日(金)を「姿勢をよくする週」として、保健委員を中心に全校への呼びかけや姿勢をよくするストレッチの実践を行いました。ご家庭でもこの機会に「正しい姿勢」について話題にしてみてください。



公開研究会(STEAM教育)が開催されました

12月12日(火)に公開研究会が開催されました。城山中学校は小田原市教育研究所がすすめる「小田原版STEAM教育」の共同研究のモデル校として、今年度より全学年で取り組んでいます。研究会当日は、1年生が取り組む「小田原の魅力発信～小田原鋳物～」を中心に代表生徒が発表などを行うとともに、柏木美術鋳物研究所の柏木さんに生徒に向けた講演を行っていただきました。また、城山中学校の取り組みを市内全体に広げていくねらいもあり、当日は小田原市、足柄下郡三町の中学校の先生方も参加しました。地域資源を生かした学習をすすめていきながら、生徒一人ひとりが充実した人生を送り、よりよい地域社会を創るための学習に取り組んでいきたいと思ひます。



塚田真希さんの授業についての新聞記事・1年生の感想

12月6日(水)
神静民報より

11月30日(木)
神奈川新聞より



柔道の技を披露し、生徒たちと交流した



生徒たちと交流する塚田さん

城山中全柔連の授業支援
小田原

城山中全柔連の授業支援。小田原市立城山中学校の柔道部員、生徒らと交流する塚田真希さん(中央)が、柔道の技を披露し、生徒たちと交流した。

塚田さんは、柔道の技を披露し、生徒たちと交流した。また、柔道の技を披露し、生徒たちと交流した。

女子柔道 五輪金 塚田真希さん 講師に
城山中全柔連の授業支援
小田原

柔道五輪金獲得者、現・塚田真希さん(中央)が、柔道の技を披露し、生徒たちと交流した。

塚田さんは、柔道の技を披露し、生徒たちと交流した。また、柔道の技を披露し、生徒たちと交流した。



中学生に柔道の指導をする塚田真希さん(中央) - 29日、小田原市立城山中学校

金メダル美技を披露
五輪柔道女子 塚田選手が授業

柔道五輪金獲得者、現・塚田真希さん(中央)が、柔道の技を披露し、生徒たちと交流した。

塚田さんは、柔道の技を披露し、生徒たちと交流した。また、柔道の技を披露し、生徒たちと交流した。

金メダル美技を披露
五輪柔道女子 塚田選手が授業

柔道五輪金獲得者、現・塚田真希さん(中央)が、柔道の技を披露し、生徒たちと交流した。

塚田さんは、柔道の技を披露し、生徒たちと交流した。また、柔道の技を披露し、生徒たちと交流した。

<1年生の感想より>

- 最初は柔道にあまり興味がなかったけど、興味を持って技や受け身をもっと覚えて実践してみたいと思いました。実際の黒帯を見て感動しました！！
- ペアやチームの練習では「相手を信頼すること」と「相手に信頼されること」を意識してがんばっていきたい。緊張したけど直接感謝を伝えられてよかった。
- 練習をしているときに、気さくにほめてくれて話しやすかったです。